

都市計画道路の見直しについて

都市計画道路とは

都市計画道路とは、公園、下水道などと並び都市施設の一つで、良好なまちづくりを実現するため、都市の骨格を形成する道路として、都市計画法に基づき位置付けられた道路です。

この道路の計画区域内では、将来の整備を円滑に行うため、建築物を建てることに対して一定の制限を課しています。

都市計画道路の機能

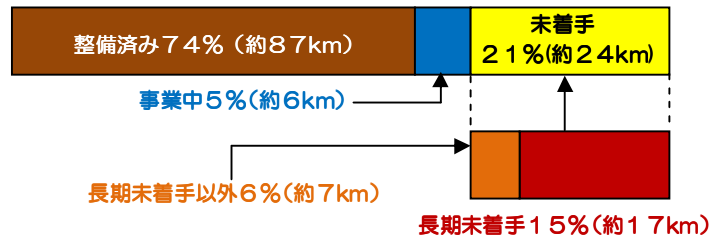
- 交通機能・・・人や自動車の移動や沿道の施設への連絡機能
- 市街地形成機能・・・街の骨格を形成し、沿道の市街化を誘導
- 空間機能・・・日照や通風をよくするための環境機能、避難路等としての防災機能、水道、ガスなどの施設の収容空間の機能

都市計画道路の現況

本市では、67路線、延長約117kmの都市計画道路を都市計画決定しており、約74%が整備済み、約5%が事業中です。

また、約21%が未着手区間であり、整備の見通しがたっていない状況です。この内、都市計画決定から30年以上を経過した、いわゆる長期未着手路線が約17kmとなっています。

都市計画道路の整備状況



見直しの背景と必要性

都市計画道路の多くは、人口の増加や市街地の拡大が続く社会を前提として計画されてきましたが、近年の人口減少・少子高齢化社会への到来、集約型都市構造への転換など、社会情勢が大きく変化する中、その必要性や位置付けに変化が生じているものもあります。

また、計画決定から長期が経過し、市街地の拡大や代替路線が整備されたことなどから、既存の都市計画道路ネットワークが十分機能していないことも考えられます。

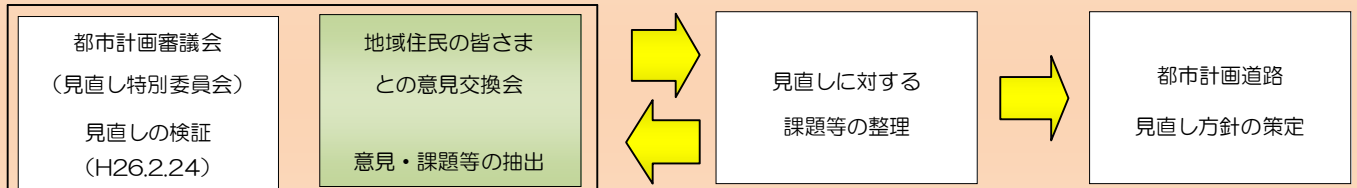
このため、都市計画道路の必要性を検証し、廃止を含めた見直しを行うことが必要となっています。

山口県の取り組み

- 平成18年3月
「都市計画道路の見直し基本方針」策定
- 平成24年3月
周南都市計画区域マスタープランにおいて、長期未着手の都市計画道路の検証や見直しを行うべきことが盛り込まれました。

見直しの方針策定までの流れ

- 検討対象路線…長期未着手路線 約17km (17路線)
- 「山口県都市計画道路の見直し基本方針」に基づき検討



※ 都市計画道路見直し特別委員会…学識経験者、市民、関係行政機関等で構成する専門的・集中的な調査検討を行う専門部会

※ 見直しの検証…「存続を検討する路線」と「廃止を検討する路線」の2つに分類

■都市計画道路見直しにおける対象路線（関門・遠石地区）

対象路線の都市計画概要

■慶万浦山線

都市計画決定：S37.8.14

幅員：1.6m

車線数：2車線

■泉原合田藪線

都市計画決定：S37.8.14

幅員：1.5m

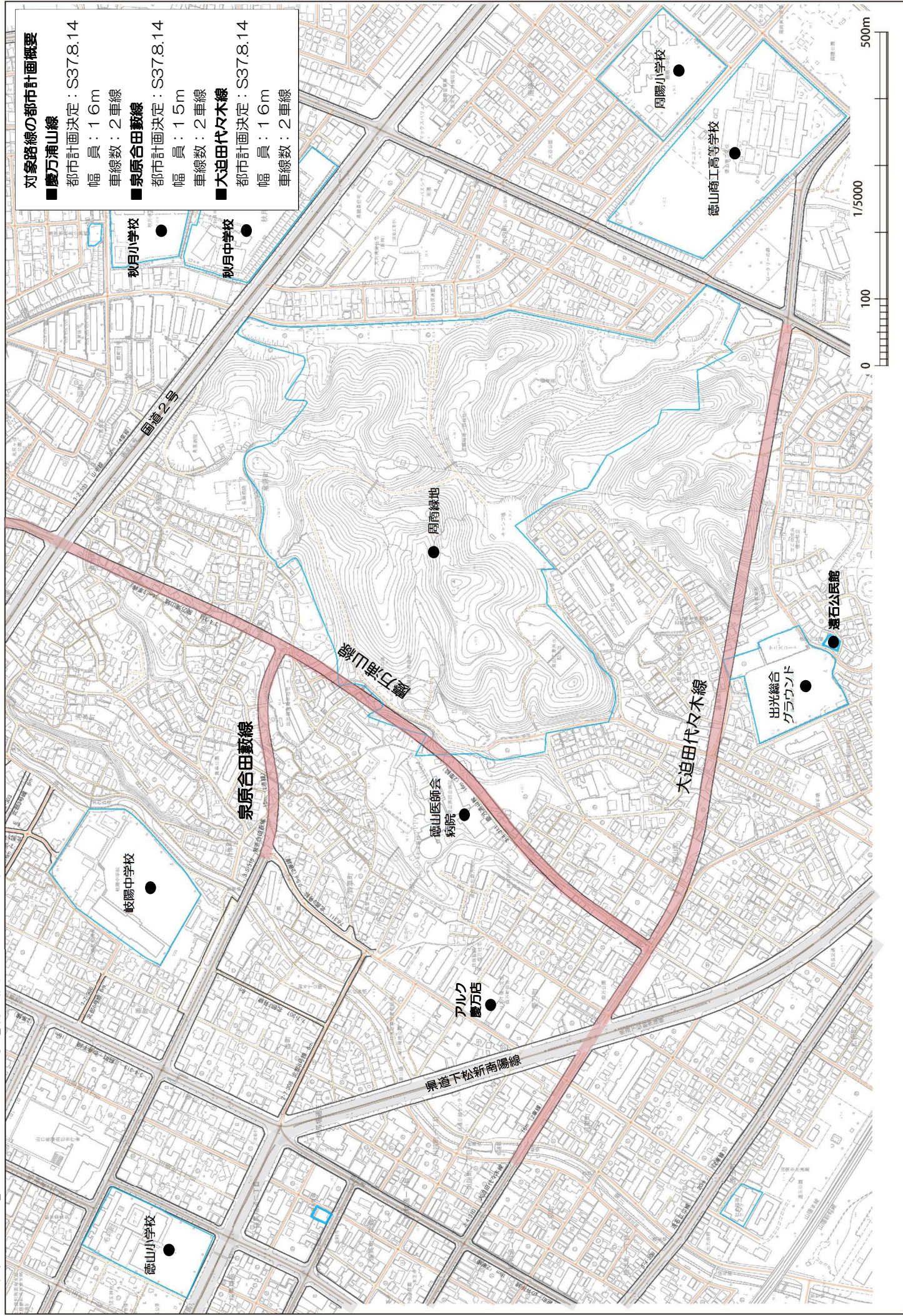
車線数：2車線

■大迫田代々木線

都市計画決定：S37.8.14

幅員：1.6m

車線数：2車線



第1回意見交換会の意見

遠石地区 H27.12.15 5名参加

関門地区 H27.12.16 8名参加

存続・廃止検討に関する意見

- 存続検討路線の実現性はあのか。
- 計画性を持って進めてほしい。
- ともに地域へ情報提供してほしい。
- 少子高齢化で街中でも空地や空き家がなくなってもよいのではないか。
- 新規の道路整備にお金をかけないといけないというのは非常に厳しい。
- 道路の計画区域を避けて家を建てるべき。
- 早めに方針を決定し、地元へ伝えるべき。
- 都市計画道路のまま何十年も整備できないより、違う形で整理してあげる方がまちづくりとして大事ではないか。
- 存続検討路線についても、地元と具体的にどこを整備するのが良いのかよく話して、この地域にとっても本当に良いかもう少し考えてほしい。
- 医師会病院までの道路は都市計画道路の計画があり、将来性のあるものがあるから現実的ではないといけない形に逆さまに整理しにくくなっている。病院があるのだから現実に見合った形で早めに整理した方が地域にとっては良い。
- 慶万浦山線は、国道2号の渋滞緩和という面では整備することは良い。
- 都市計画道路ができたから便利になると思うが、住宅が立ち並んでおり現実的には不可能ではないか。
- 大迫田代々木線の存続は分かるが、泉原合田藪線と慶万浦山線がつながる部分は厳しい。
- 慶万浦山線・泉原合田藪線は、高低差もあり、50年前とは環境も違う。整備しても費用対効果は全くない。
- 既存の道路を気持ちよく通れるように手を加えた方が良いと思う。
- 離合できる道路幅があれば良い。

現道に関する意見

- 医師会病院前が廃止となっているが、病院への道路は考えないのか。
 - 医師会病院への道路は狭く、緊急事態への対応を考え、整備の優先順位を上げないといけない。
 - 朝夕、国道2号が渋滞するため、市街地内の細い道路（慶万町）を通っているが、県道に出るところで混雑している。
 - 医師会病院からアルクへ出る道路の交通量が多いので、対策をしてほしい。
- 存続・廃止検討に関する意見**
- 小学生の通学路となる箇所は、進路規制、速度規制、信号機設置などを考慮してほしい。
 - 存続検討路線である秋月に抜ける道路ができれば、三田川交差点の混雑もなくなると思う。また、三田川交差点から下りてきた車は、桜馬場の変則信号を避けるため、山口銀行で左折しアルクの所に出てくる。道路ができれば、これも解消できる。
 - 西緑地の辺りは、現道との交差や信号機を考えるとできない。トンネルで抜いたほうが早いのではないか。
 - 市として進めるのであれば、何年後にこうなるというものを出してほしい。
 - 北部9号線が途中で切れているが、これをアルクの前の道路を抜ける道として都市計画道路にできないか。
 - 10年20年先の計画より、現実的に困っている道路を先に整備してほしい。

意見交換会に関する意見

- 意見交換会の参加者が少ない。もっと集まる体制をとる必要がある。